

平成28年度 新人看護職員フォロー研修

| 日時 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|-----------------------------|--|--------------------------------------|---|---|--|--|--|
| | 8/18(木) | 9/26(月) | 10/6(木) | 11/24(木) | 12/15(木) | 1/19(木) | 2/9(木) | 3/4(土) |
| | 15:00～17:00 | 14:00～17:00 | 14:00～17:00 | 16:00～17:00 | 15:00～17:00 | 15:00～17:00 | 13:00～17:00 | 15:00～17:00 |
| 場所 | 大会議室 | 大会議室/中会議室 | 大会議室 | 大会議室 | 大会議室 | 大会議室 | 大会議室 | 大会議室 |
| 研修内容 | 注射技術 | 多重課題 | 救急蘇生 | 記録 | KYT・倫理 | フィジカルアセスメント ① | フィジカルアセスメント ② | もうすぐ先輩 |
| 指導担当 | 教育担当主任 | 教育担当主任 | 救急蘇生指導者 | 記録委員会 | 教育担当主任 | 教育担当主任 | 広島大学病院 集中ケア認定看護師 岡本美穂氏 | 教育担当主任 |
| 目的 | 正確な注射技術が実施できる | 多重課題・時間切迫の状況下で優先順位を選択し、基本的な看護技術が安全に実践できる | 救急蘇生の流れを知り、実技を習得する | 病棟:看護要約の書き方を理解できる 透析:フォーカスチャートを用いた看護記録がかけられる | KYT:臨床における危険予知能力を伸ばす。 倫理:医療従事者として倫理感を深め行動する意識を持つ。 | 例題(患者の症状や経過)を通して患者の状態をアセスメントし、次の対応策や観察点を導き出すアセスメント能力を培う。 | 臨床現場で活かせるフィジカルアセスメントに必要な基礎知識を学ぶ。 | ①就職して1年を振り返り、新人を迎える先輩としての準備と心構えについて考える ②同期職員同士コミュニケーションを図り、横のつながりを深める |
| 目標 | 今までの注射技術を振り返り、正確な注射技術を確認する。 | 1. 優先順位を考え対応できる 2. 多重課題に対応しながら、正確な看護技術が実施できる 3. 複数患者への対応ができる 4. 必要に応じ他スタッフに報告連絡相談ができる | 急変時発見～胸骨圧迫・気管挿管までの流れを知り、今後に活かすことができる | 病棟:模擬患者に対しての看護要約がかけられる 透析:透析レポートの事例を通して日々の記録を振り返り理解をふかめることができる | KYT:KYTを通して臨床での危険を考える事が出来る。 倫理: 1.各職種の倫理綱領の内容を理解できる 2. 倫理について話し合うことができる。 3. 自己の看護について振り返り、今後に活かすことができる。 | 客観的な根拠のある身体情報、患者の訴えや呈している症状を正しくアセスメントし、状況を判断できる。 | 1. フィジカルアセスメントについて理解できる 2. フィジカルアセスメントに必要な知識を習得できる 3. フィジカルアセスメントに必要な技術を学ぶことができる 4. 症状・徴候からアセスメントすることができる | 1年間を振り返り、今後の課題を明確にできる。 |
| 備考 | | | | | | | 聴診器・ペンライト(持ってる人)持参 | |